

## 2017年度 「飲料自動販売機の売上金1%相当額の寄付」について

マルエツでは、社会貢献活動の一環として、2008年度より、全店の店頭および店内の飲料自動販売機の売上金の1%相当額をマルエツ全店舗がある地域の社会福祉協議会等を通じて、地域の介護・養護施設へ寄付する活動を行っております。今年も、下記の内容にて寄付を実施いたしますのでお知らせいたします。  
 なお、2017年度までの累計寄付金額は32,373,000円となりました。

当社は、これからも、地域のお客さまの健康で豊かな食生活に貢献するとともに、首都圏296店舗の店舗網を通じ、継続して、積極的な社会貢献活動や環境活動を行い、社会的責任を果たしてまいります。

※自動販売機掲示ポスター



※東京都社会福祉協議会での目録贈呈式



記

- 寄付総額 3,400,000円  
 (マルエツ全店舗における、17年3月～18年2月までの1年間の飲料自動販売機の売上金1%相当額)
- 寄付先と寄付金額

地域	寄付先	寄付金額
東京都	東京都社会福祉協議会	1,000,000円
神奈川県	神奈川県社会福祉協議会	800,000円
埼玉県	埼玉県社会福祉協議会	800,000円
千葉県	千葉県社会福祉協議会	700,000円
栃木県	小山市社会福祉協議会	50,000円
茨城県	坂東市社会福祉協議会	50,000円
(合計)		3,400,000円

- 寄付日 2018年5月31日(木)

以上

## ◆ ご参考 ◆

### 【マルエツの主な社会貢献・環境活動】

#### <盲導犬育成募金活動&補助犬の受入れ>

- ・ 全店で「盲導犬育成募金」活動の実施
- ・ 店舗内への補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）の受入れ
- ・ 盲導犬、及び目の不自由な方々に対する理解促進を図るため、店舗にて日本盲導犬協会と「盲導犬ふれあいキャンペーン」を定期的に開催
- ・ お客さまをご招待し、公益財団法人日本盲導犬協会 神奈川訓練センターの施設見学会を実施



#### <自然災害に対する支援募金活動>

- ・ 大地震や大雨等の自然災害で被災された方々のための店頭募金の実施

#### <ペットボトルキャップの回収>

- ・ ペットボトルキャップをリサイクル資源として売却し、その売却益を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会（JVC）」へ、途上国の子供たちのワクチン代として寄付

#### <サービス介助士の配置>

- ・ ご高齢の方やハンディキャップを抱えているお客さまのお買い物の手助けを行う「サービス介助士」を各店舗に配置  
2016年12月に、当社従業員「サービス介助士」1,000人を達成し、  
2018年2月末 現在、1,032人

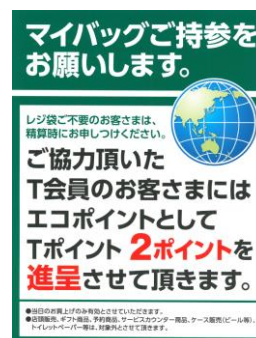
#### <カーボン・オフセット>

- ・ 事業活動において排出されるCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）削減の一環として、森林保全等によるCO<sub>2</sub>を吸収する事業からオフセット・クレジットを購入し、お買い物袋持参で削減できなかったレジ袋製造等の際に排出されるCO<sub>2</sub>をオフセット（埋め合わせ）する取り組み。オフセット・クレジット購入費用には、お客さまのご協力のもと、店頭回収された紙パックやペットボトル等のリサイクル資源の売却益を活用し、岩手県、福島県、宮城県の前被災3県からオフセット・クレジットを購入することで、地球温暖化防止につながる環境活動を推進し、被災地域の環境保全活動や地域活性化を支援



#### <省資源・省エネルギー>

- ・ レジ袋削減のための「お買い物袋持参運動」の推進  
「Tカード」会員のお客さまがレジ袋を辞退された場合、お買上げ金額にかかわらず「エコポイント」として2ポイントを進呈
- ・ 店内の冷蔵ケース内部照明と外部サイン、店内基本照明器具にLED照明を新店に採用。既存店の店内基本照明のLED照明切替えを全店完了（一部店舗除く）



### ■当社の地域別店舗数状況 (2018年6月1日現在)

地域	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	茨城県	栃木県	合計
店舗数	142	56	50	46	1	1	296

### ■お問い合わせ先 広報CS部 城生(じょうの)・樋垣(ひがき) (電話 03-3590-0016)